

Triennale School

トリエンナーレスクール

モデレーター：
会田大也
「あいちトリエンナーレ2019」キュレーター
(ラーニング)
飯田志保子 [第9回のみ]
「あいちトリエンナーレ2019」チーフ・キュ
レーター (学芸統括)

定員：
70名 (原則:1部のみ参加 35名 / 1部・2部
両方参加 35名)

参加費：
無料 (要事前申込・先着順)

主催：
あいちトリエンナーレ実行委員会

vol.07

2018
8.19
SUN
14:00
16:00

『14歳の私が行動を
起こした時から
現在まで』

ゲスト：
川口加奈 (社会起業家)
会場：
アートラボあいち

vol.08

2018
9.16
SUN
14:00
16:00

『ふるまいを
デザインする建築家』

ゲスト：
遠藤幹子 (建築家)
会場：
アートラボあいち

vol.09

2018
10.21
SUN
14:00
16:00

『2019年ラーニングの
プログラムが
目指すこと』

ゲスト：
会田大也
([「あいちトリエンナーレ2019」
キュレーター [ラーニング])
会場：
長久山 円頓寺

vol.10

2018
11.18
SUN
14:00
16:00

『音楽情報メディアを
運営する憂鬱と幸福』

ゲスト：
大山卓也
([「あいちトリエンナーレ2019」
キュレーター [音楽プログラム])
会場：
愛知県図書館 5階大会議室

vol.11

2018
12.16
SUN
14:00
16:00

『アートが、
ビジネスに対して
出来ること』

ゲスト：
孫泰蔵
(シリアルアントレプレナー /
Mistletoe株式会社ファウンダー)
会場：
アートラボあいち

vol.12

2019
1.20
SUN
14:00
16:00

『がんと共に歩む力を
～マギーズ東京の
試み～』

ゲスト：
秋山正子
(認定NPO法人マギーズ東京 センター長)
会場：
アートラボあいち

vol.13

2019
2.17
SUN
14:00
16:00

『先端技術にとって
美とは何か』

ゲスト：
江渡浩一郎
(研究者 / メディアアーティスト)
会場：
アートラボあいち

vol.14

2019
3.17
SUN
14:00
16:00

『世界と日本に
おける芸術祭の
歴史と文脈』

ゲスト：
加治屋健司 (美術史家)
会場：
豊田市中央図書館
6階多目的ホール

情の時代



あいち
トリエンナーレ
2019
AICHI TRIENNALE 2019:
Taming Y/Our Passion

Triennale School

トリエンナーレスクール

トリエンナーレスクールでは「あいちトリエンナーレ2019」の開催に向けて、多方面で活躍するアーティストや専門家をゲストに迎え、様々な視点から切り込むことで、考え方、学び方を発見していきます。1部のレクチャーと2部のディスカッションから構成され、今日的なテーマと、アートの創造性を組み合わせ、「クリエイティブな発想」を身近に感じられるプログラムです。

第7回 14歳の私が行動を起こした時から現在まで

ゲスト：川口加奈 (社会起業家)

14歳の時にホームレスの問題に出会い、社会課題を解決するための方策を社会活動として実践してきた川口加奈さんに、その活動の根源にある「情熱」と課題解決に向けた運動の「実現力」について伺います。

日時：2018年8月19日(日) 14:00~16:00
会場：アートラボあいち

KAWAGUCHI KANA



かわくち かな ● 1991年大阪府高石市生まれ。大阪市立大学卒業。認定NPO法人Homedoor理事長。14歳でホームレス問題に出会い、ホームレス襲撃事件の根絶をめざし、炊出しや100人ワークショップなどの活動を開始。19歳でHomedoorを設立し、シェアサイクルHUBchari事業等でホームレスの人や生活保護受給者累計150名以上に就労支援、500名以上に生活支援を提供する。ウーマン・オブ・ザ・イヤー 2013若手リーダー部門やGoogleインパクトチャレンジグランプリにも選出される。

受付開始：2018年7月13日(金)

第8回 ふるまいをデザインする建築家

ゲスト：遠藤幹子 (建築家)

建築家として様々な建物の設計やテレビ番組等のアートディレクションを手がける一方で、建物に集う人々の「ふるまい」をもデザインしてきた遠藤幹子さんに、「コミュニティの運用」について語っていただきます。

日時：2018年9月16日(日) 14:00~16:00
会場：アートラボあいち

ENDO MIKIKO



えんどう みきこ ● 東京藝術大学大学院修了。オランダでの留学中に出産・子育てを経験し、良質なデザインが公共に広く展開される豊かさに触れ、2003年の帰国以降、大人から子どもまで「みんなが創造力を育める場づくり」をテーマに、公共文化施設や商業施設のデザインやワークショップを多数手がける。また2011年からは国際協力NGOジョイセフと共に、アフリカのザンビアの村々にお産の施設を住民参加型で建設する「ザンビアのマトニティハウス」プロジェクトも継続的に行っている。

受付開始：2018年7月18日(水)

第9回 2019年ラーニングのプログラムが目指すこと

ゲスト：会田大也 (「あいちトリエンナーレ2019」キュレーター[ラーニング])

「あいちトリエンナーレ2019」でラーニングを担当する会田大也さんが、これまで活動した中で感じた、一般的なアート教育普及の課題と、今回のトリエンナーレで目指そうとしている方向を示します。

日時：2018年10月21日(日) 14:00~16:00
会場：長久山 円頓寺

AIDA DAIYA



あいだ だいや ● 1976年東京都生まれ。情報科学芸術大学院大学[IAMAS]修了後、2003年より山口情報芸術センター[YCAM]に教育普及担当として勤務。鑑賞プログラムや市民参加プログラム、メディアワークショップや公園型展示作品の企画を行う。キッズデザイン賞大賞、グッドデザイン賞、メディア芸術祭審査委員会推薦作品など受賞。2013年、国際交流基金による日・ASEAN友好協力40周年記念メディアアート展「MEDIA/ART KITCHEN」キュレーター。2014年より東京大学リーディング大学院プログラムGCL-GDWS特任助教など。

受付開始：2018年8月22日(水)

第10回 音楽情報メディアを運営する憂鬱と幸福

ゲスト：大山卓也 (「あいちトリエンナーレ2019」キュレーター[音楽プログラム])

「あいちトリエンナーレ2019」キュレーター(音楽プログラム)である大山卓也さんを迎えて、これまで音楽情報メディアの運営者として活動してきた知見を伺います。また、今後音楽プログラムで取り組んでみたいこと、狙いなどを聞いてみます。

日時：2018年11月18日(日) 14:00~16:00
会場：愛知県図書館 5階大会議室

OYAMA TAKUYA



おおやま たくや ● 1971年北海道生まれ。北海道大学文学部卒業。株式会社ナターシャ創業者。株式会社メディアワークス(現KADOKAWA)にて7年間にわたり雑誌やウェブメディアの編集を手がけ、2006年に代表取締役として音楽ニュースサイト「ナタリー」などを運営する株式会社ナターシャを設立。2007年2月から自社運営のニュースサイト「ナタリー」をスタートさせる。

受付開始：2018年9月19日(水)

	14:00	15:00	16:00
🕒 プログラム内容 ※時間の構成についてはおおよその目安になります。	🕒 レクチャー 60分	休憩	🕒 ディスカッション 45分

第11回 アートが、ビジネスに対して出来ること

ゲスト：孫泰蔵 (シリアルアントレプレナー / Mistletoe株式会社ファウンダー)

スタートアップ分野で注目を集め、またアートコレクターでもある孫泰蔵さんが考える、「現代美術の魅力」および「ビジネス」との共通点について語っていただきます。

日時：2018年12月16日(日) 14:00~16:00
会場：アートラボあいち

SON TAIZO



そん たいぞう ● 日本の連続起業家。ベンチャー投資家。大学在学中から一貫してインターネットビジネスに従事。その後2009年に「2030年までにアジア版シリコンバレーのスタートアップ生態系をつくる」として、スタートアップのシードアクセラレーター MOVIDA JAPAN を創業。そして2013年、単なる出資に留まらない総合的なスタートアップ支援に加え、未来に直面する世界の大きな課題を解決するためMistletoeを設立。その課題解決に寄与するスタートアップを育てることをミッションとしている。

受付開始：2018年10月17日(水)

第12回 がんと共に歩む力を～マギーズ東京の試み～

ゲスト：秋山正子 (認定NPO法人マギーズ東京センター長)

がんに影響をうけた人々が立ち寄り、自分の力で歩いていける英国発祥の「マギーズセンター」を、日本で初めて設立した秋山正子さんに、「人生の幸福」、「人との繋がり」、「福祉と環境」といった観点からコミュニティのあり方について伺います。

日時：2019年1月20日(日) 14:00~16:00
会場：アートラボあいち

AKIYAMA MASAKO



あきやま まさこ ● 秋田県生まれ。聖路加看護大学卒業。実姉の末期がんの看取りを経験時に、在宅ホスピスケアに出会い1992年から東京都新宿区にて訪問看護を開始。イギリスのマギーズセンターに出会い、がん患者と家族のための新しい相談支援の形として、2016年10月東京都江東区豊洲にマギーズ東京をオープン。2011年高齢化の進む団地に「暮らしの保健室」を開設。住民の健康や介護に関する相談に応じ、地域医療連携にも関与している。

受付開始：2018年11月21日(水)

第13回 先端技術にとって美とは何か

ゲスト：江渡浩一郎 (研究者 / メディアアーティスト)

先端技術をベースに、人の創造性の根源を探る研究者 / メディアアーティストの江渡浩一郎さんから、「人工知能時代における創造性の秘密」について話を聞いてみます。

日時：2019年2月17日(日) 14:00~16:00
会場：アートラボあいち

ETO KOICHIRO



えと こういちろう ● 国立研究開発法人産業技術総合研究所主任研究員 / ニコニコ学会β交流協会会長 / メディアアーティスト。東京大学大学院情報理工学系研究科博士課程修了。博士(情報理工学)。産総研では「利用者参加によるサービスの構築・運用」をテーマに研究を続ける。主な著書に「ニコニコ学会βのつくりかた」(フィルムアート)、「進化するアカデミア」(イースト・プレス)。2017年、科学技術分野の文部科学大臣表彰 科学技術賞(理解増進部門)受賞。

受付開始：2018年12月19日(水)

第14回 世界と日本における芸術祭の歴史と文脈

ゲスト：加治屋健司 (美術史家)

美術史家である加治屋健司さんより、世界の美術の文脈を踏まえて、日本における芸術祭の歴史と背景について伺った上で、「あいちトリエンナーレ」が歴史上どんな位置づけになると考えられるかを伺います。

日時：2019年3月17日(日) 14:00~16:00
会場：豊田市中心図書館 6階多目的ホール

KAJIYA KENJI

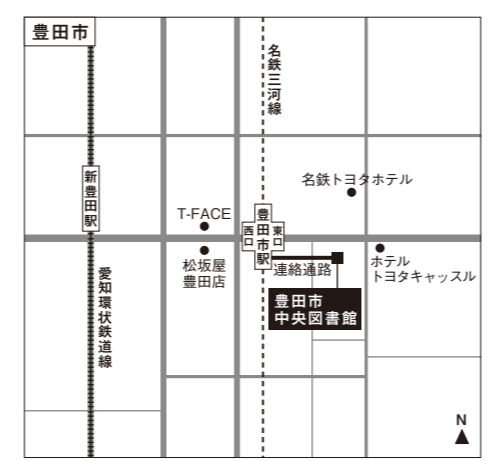
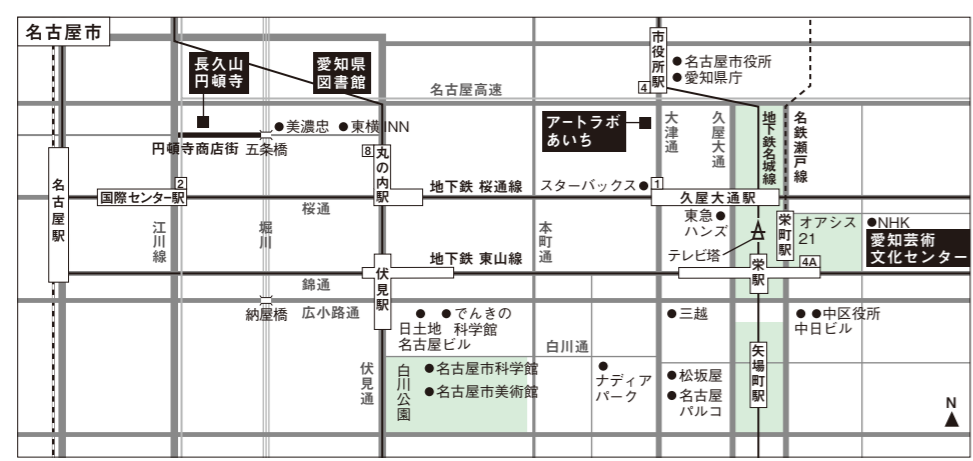


かじや けんじ ● 美術史家。東京大学大学院総合文化研究科准教授。ニューヨーク大学大学院美術研究所博士課程修了。PhD(美術史)。日本美術オラール・ヒストリー・アーカイヴ代表。共編著に『From Postwar to Postmodern, Art in Japan 1945-1989: Primary Documents (New York: Museum of Modern Art, 2012)』、『中原佑介 美術批評選集』全12巻(現代企画室+BankART出版、2011年—)、共訳書に『イヴ=アラン・ボワ、ロザリンド・E・クラウス『アンフォルム無形なもの事典』(月曜社、2011年)』。

受付開始：2019年1月16日(水)

参加費：無料(要事前申込《開催日の60日前の正午より受付開始》・先着順)
申込方法：あいちトリエンナーレ公式WEBサイト イベント申込フォーム内 (<http://aichitriennale.jp/event/index.html>) よりお申込みください。
締切：定員に達し次第、申し込みを締め切ります。

※申込み1件につき1名のみといたします。 ※各回ごとに申込みが必要です。 ※1部(レクチャー)のみの申込みは可能ですが、2部(ディスカッション)に参加を希望される方は、1部・2部両方参加で申込みください。(2部のみの申込みはできません。) ※申込みは、1部/1部・2部共に先着順とさせていただきます。 ※参加の可否は、後日事務局よりご連絡いたします。 ※各施設へのお問い合わせはご遠慮ください。



アクセス：
■アートラボあいち | 名古屋市中区丸の内3-4-13 愛知県庁大津橋分室
○ 地下鉄名城線「市役所」駅下車、4番出口から南へ徒歩5分
○ 地下鉄桜通線・名城線「久屋大通」駅下車、1番出口から北へ徒歩8分
■長久山 円頓寺 | 名古屋市区西那古野1-11-7
○ 地下鉄桜通線「国際センター」駅下車、2番出口から徒歩10分
○ 地下鉄鶴舞線・桜通線「丸の内」駅下車、8番出口から徒歩10分
■愛知県図書館 | 愛知県名古屋市中区三の丸一丁目9-3
○ 地下鉄鶴舞線・桜通線「丸の内」駅下車、8番出口から徒歩5分
■豊田市中心図書館 | 愛知県豊田市西町1-200 豊田総合館内
○ 名鉄「豊田市」駅下車、東口から徒歩2分
○ 愛知環状鉄道「新豊田駅」下車、東口から徒歩5分

あいちトリエンナーレは3年ごとに開催する国際芸術祭です。
あいちトリエンナーレ2019
芸術監督：津田大介
テーマ：情の時代 Taming Y/Our Passion
会期：2019年8月1日(木)～10月14日(月・祝) [75日間]
問い合わせ先：
あいちトリエンナーレ実行委員会事務局
〒461-8525 名古屋市中区東横1-13-2
愛知芸術文化センター6階
TEL 052-971-6127
FAX 052-971-6115
<http://aichitriennale.jp>

平成30年度文化庁 文化芸術創造拠点形成事業